

比較芸術論Ⅱ

科目ナンバリング ARL-302
選択必修 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)

多様なジャンルの舞台芸術について、その誕生の契機や社会的機能を、比較や交流の観点から学ぶ。

2. 授業の到達目標

多様なジャンルの舞台芸術と社会の関係、その舞台芸術が体现する価値観の類似性や相違性を理解し説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の最後に学習内容を確認する小テストを行う(20%)。レポート課題(20%)。学期末試験(60%)。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

比較芸術論Ⅰを履修していることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 ヨーロッパにおけるオペラの誕生
- 【第3回】 イギリスへのオペラの移入とイギリス人アイデンティティ
- 【第4回】 西洋音楽とトルコ「トルコ行進曲」の成立
- 【第5回】 西洋音楽と東アジア①ー日本における西洋音楽の受容
- 【第6回】 西洋音楽と東アジア②ー中国における西洋音楽の受容
- 【第7回】 西洋音楽と東アジア③ー韓国における西洋音楽の受容
- 【第8回】 日本の演劇①ー歌舞伎の成立
- 【第9回】 日本の演劇②ー現代の『東海道中膝栗毛』
- 【第10回】 日本の演劇③ー能と狂言
- 【第11回】 西洋演劇と日本ー日本における「近代」演劇の成立
- 【第12回】 東西の「寄席」①ー近代日本における寄席
- 【第13回】 東西の「寄席」②ーイギリスにおけるミュージック・ホール
- 【第14回】 東西の「寄席」③ーフレンチ・カンカン の成立
- 【第15回】 まとめ・授業内試験